

平成20年11月6日

受験生の皆様へ

福島大学長
今野順夫

平成21年度大学院経済学研究科及び経済経営学類編入学入試における
試験問題原稿の不適切な扱いについてのお詫び

本年10月22日(水)に実施しました大学院経済学研究科及び経済経営学類編入学入試における、外国語科目「英語」において、試験問題原稿の不適切な扱いがあったことをご報告いたします。

不適切な扱いの内容とその対応及び受験生への対応については下記のとおりでございます。

受験生の皆様ならびに関係の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、試験問題の作成、管理につきましてはなお一層厳格に取り扱うとともに、再発防止に努めていく所存でございます。また、受験された皆様には、本学の今回の対応についてご理解いただけますようお願いいたします。

1. 不適切な扱いの概要

大学院経済学研究科及び経済経営学類編入学入試における、外国語科目「英語」について、試験が実施される前の段階で、出題担当者が問題原稿の一部を学類棟内教員用印刷室に置き忘れていたという事態が判明いたしました。当該問題が外部に漏れた可能性は極めて低いと思われませんが、試験問題原稿の不適切な扱いが行われたと判断を下しました。

2. 不適切な扱いへの対応

本学では受験生へ不利にならないよう慎重に協議を重ね、『当該設問(大学院、編入学それぞれ「問」)について、大学院経済学研究科、経済経営学類編入学各入試の英語受験者全員を正解(配点50点)とする』措置をとり、合否判定を以下の措置で行いました。

英語を選択した受験生に当該設問について一律50点を与えた上で、研究科、学類の判定基準を基にした合格圏内の受験生すべてについて、合格としました。

一律50点を与える措置をとらずに、通常の採点をした結果、つまり当該問題も採点対象とした結果、合格圏内に入っていたすべての受験生についても、合格としました。

およびの措置の結果、編入学入試において、英語以外の言語を選択した受験生の一部にとって不利になるようなアンバランスが認められましたので、救済し、合格としました。大学院入試においては、該当者はいませんでした。

3. 受験生への対応

今回の不適切な扱いに関しては、合格発表前であったこともあり、上記のとおり対応について慎重に協議を重ね、予定どおり11月6日(木)に合格発表を行いました。不明な点などございましたら、本学入試グループにおいて対応させていただきますので、お問い合わせ願います。

【お問い合わせ電話番号：024 548 - 8063, 8064】